

介護予防部会事業計画書

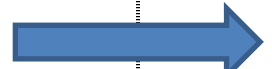
令和4年度

			R4								R5			担当		
項目		事業内容(目的)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	
1	介護予防実態把握事業	①フレイルチェック質問票を送付し、支援必要者及びハイリスク未返信へ状況確認を行い、早期に介護予防活動へとつなげる。また質問に回答することにより介護予防の必要性認識及び意識づけ・包括支援センターの周知を行っていく。結果を地区診断へ活かし各包括の事業へ反映させていく。 ②現行の把握事業実施課題の抽出をし、令和5年度へ向けた新たな把握事業実施方法について検討をする。	①													篠岡南部
			今年度の事業方法についての再確認・質問票内容に関する課題解決及び対象者についての検討				事業周知・結果送付時のイベント案内や啓発内容についての検討		対象者抽出		対象者に訪問及び結果の発送		各包括まとめ報告	事業全体の振り返り		
			②												次年度事業計画作成	
			令和5年度把握事業策定に向けて、前年度の把握事業から見えた課題とその解決方法を検討する ・地域から孤立している要介護(支援)者のいる世帯や重層的な課題を抱えている世帯を早期に発見するための方法を現行の把握事業以外の方法で検討する ・他機関多職種との連携方法やデータ活用方法を検討し、より効率的かつ効果的な方法を検討する													
2	認知症予防ゲーム普及事業	高齢化率に対応し、認知症予防の実施と啓発を目的とした地域交流の機会を設ける。そのため、広報にて一般募集した方を対象に、認知症予防ゲームを定期開催し、リーダー養成講座修了者に活動の場を提供する。また、リーダー候補生を募集し次年度の新規リーダー養成を目指す。													北里	
			ふれあいセンターでのゲーム開催 (毎月第1と第3木曜日/計10回)				反省と意見交換		ふれあいセンターでのゲーム開催 (毎月第1と第3木曜日/計10回)				反省と意見交換			
			②													次年度事業計画作成
			サロンや老人会、カフェなどでのゲームの普及 リーダー候補生の募集と育成													
3	介護予防事業の普及・啓発	①介護予防把握事業の結果から、口腔・栄養の項目に該当される対象者が多いため、最新情報収集や、スキルアップを目的に担当者の研修会を行う。それと合わせて、保健センター等の各機関と連携し、普及・啓発に取り組む。 ②各包括の介護予防事業実施について評価の報告を行い、その結果から市内での波及の検討を行う。	①												小牧	
			部会にて研修で受けた情報について出しあう。その後研修の案を作成。		研修講師の調整を行う。	研修開催	研修での学びを活かし、介護予防(口腔・栄養)のチラシを作成する。		チラシを活用し、介護予防(口腔・栄養)の普及・啓発に繋げる。				次年度事業計画作成			
			①													次年度事業計画作成
			保健センターや各機関の専門職と連携し、顔後予防の普及・啓発をしていく。													
			②													
各包括介護予防事業の状況確認を行う。				評価を行う		評価を部会にて報告		市内での波及の検討を行う		検討結果によって、新たな事業の準備を行う。 (事業内容・開催時期・対象者等)				次年度事業計画作成		
4	社会資源情報の普及・啓発	①広域で実施されている事業を「元気でイキイキ！小牧お出かけリスト」に反映し、情報として配布できるよう、地域支え合い推進員と共に、必要に応じてメンテナンスを行う。 ②市や社協、各包括が持つ既存の媒体を活用しながら広域・各圏域の社会資源を可視化し、包括職員やケアマネジャーが適切な繋ぎ先として紹介しやすいツールの作成を検討する。	①												味噌	
			・市内における、事業の継続・追加等の確認を行う ・リストの修正、印刷等のタイミングを検討する													
			②													次年度事業計画作成
			社会資源可視化について意見交換		使用可能な既存の媒体について調査及び情報収集		継続している地域の社会資源について情報共有しまとめる		社会資源情報のツールを形作る							
全体の流れ			全体会		事業の検討・実施								次年度事業計画策定		計画提出	

介護予防推進部会メンバー リーダー：小島 早苗（味岡包括）
サブリーダー：新井 紀子（篠岡包括）
管理者：金田 泰丈（味岡包括）

	(南部包括)		(小牧包括)	(味岡包括)	(篠岡包括)	(北里包括)	(地域支え合い推進員)	(市＜保健センター＞)	(市＜健康生きがい推進課＞)	(市＜介護保険課＞)	(市＜保険医療課＞)	(市＜地域包括ケア推進課＞)
メイン担当	丹羽 尚美	伊藤 孝	小島 早苗	新井 紀子	大越 由加里	池谷 基善	河野 友里	小川 真波	桂田 友貴	波多野 晴菜	長谷川 えい子	
サブ担当	三嶋 直美	四宮 貴美子		高田 かおる	長谷川 由紀枝				安達 美智子			

権利擁護推進部会事業計画書 令和4年度

	項目	事業内容(目的)	R4							R5				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	身寄りのない人への支援 【主担当】小牧包括	関係機関と課題の共有 ガイドラインの作成や事業にむけての取り組み ・関係機関との座談会(zoom) ⇒「多職種研修会」との共同で出来ないか												
			R3年度分を追記 包括の身寄りのない人の ケースを整理、分析			このあたりの時期で 座談会ができるといいかも								
2	成年後見制度の啓発 尾張北部権利擁護支援セン ターとの連携 【主担当】南部包括	市民の窓口として、適切に成年後見制度の 説明、関係機関と連携が取れる ・権利擁護支援センターの研修会への協力、 参加 ・包括職員向けの勉強会を調整 ⇒ケアマネジャーの参加も可とするか												
				包括向け研 修会の開催 依頼		部会后、セン ター安藤氏と 打ち合わせ					勉強会の開 催			
3	高齢者虐待防止関連 【主担当】北里包括	ケアマネ・事業所との適切な連携ができるよ う共有する 高齢者虐待防止の理解・啓発 ・各包括で圏域の事業所向けに個別に研修 会 事業所のニーズに合わせた内容												
			事業所向け虐待防止研 修内容の統一 ・重点箇所の確認 ・チラシの作成、送付			依頼のある事業所と打ち合わせ ⇒実施 ⇒部会内で報告・共有				目標:各包括3事業所				
4	小牧生き生き人生プロジェクト 会議 わた史ノートの啓発活動 【主担当】篠岡包括	ACP(人生会議)・わた史ノートの市民啓発 会議 ・小牧生き生き人生プロジェクト会議へ参加 (輪番制で参加) ⇒部会にて意見集約 ・わた史ノートの啓発の出前講座												
			わた史ノート出前講座の 統一											
5	消費者被害防止関連 【主担当】味噌包括	消費者被害防止への取り組み 消費者センターとの連携 ・消費者安全確保地域協議会の設置に 合わせた参加・協力 ・啓発活動(チラシ、寸劇) ・消費者センターとの意見交換会 ・ケースの共有												
			啓発チラシ作成・配布											
全体の流れ			全体会	事業の検討・実施							次年度事業計画策定		計画提出	

権利擁護推進部会メンバー
リーダー:佐藤 弘実(北里包括)
サブリーダー:加藤 拓(味噌包括)
管理者:青木 翔太(小牧包括)

(南部包括) (小牧包括) (味噌包括) (篠岡包括) (北里包括) (地域支え合い推進員) (在宅医療・介護連携サポートセンター) (市く地域包括ケア推進課)									
メイン担当	多比良 明里	青木 翔太	加藤 拓	立松 誠	佐藤 弘実	花木 竜人	磯村 千鶴子	奥山 啓子	
サブ担当		藤北 智大	金田 泰丈	丹下 和彦			加藤 三紀子		

ケアマネジメント支援推進部会事業計画書 令和4年度

	項目	事業内容(目的)	R4							R5			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1	地域ケア会議の見直し 【担当:南部】	長寿社会開発センター作成の「地域ケア会議運営マニュアル」をベースとして、地域ケア会議の体系をわかりやすくまとめ、小牧市全体で統一した地域ケア会議の開催を図る。										振り返り 次年度の検討	
				個別地域 ケア会議マ ニュアルを 読み返し	気づきがあった点の見直し・過不足 の確認・検討			圏域レベルでの地域ケア会議の書 式検討・作成			地域ケア会議マニユ アの更新	マニュアル 完成	
2	ケアマネジメント支援会議 (旧 事業所交流会) 【担当:味噌】	日報の「ケアマネジメント相談」「困難事例支援」の分析を行い、小牧市共通の課題を含む事例を提供。ケアマネジャーの現場の声を聴き、困りごとを解決するために、どのような仕組みがあると良いか検討する。											
				R3年度の 各包括の 課題分析	課題の意見交換・テ マ決め・オブザーバ ー等・開催準備		開催準備(役割分担・ 案内の発送準備)		ケアマネジ メント支援 会議開催	アンケート結果と振り 返し参加者への報告		次年度の取り組みについての意見 交換・まとめ	
3	包括的・継続的 ケアマネジメント支援事業 【担当:北里】	市内ケアマネジャーの後方支援として、 ・ケアマネジャーが疑問に思う点をまとめたQA一覧表の作成 ・困難事例及び対応方法の共有 その他、支援につながることを実施する。										振り返り 次年度の検討	
				①QA内容の検討(包括に寄せられた質問) ②小牧市包括合同事例検討会に向けた準備 ③市内の居宅介護支援事業所が抱える課題について				①毎月、各包括が報告 ②準備ができ次第、随時開催 ③課題の抽出が揃い次第、市に報告する					まとめ
4	介護予防ケアマネジメント 研修会の開催 【担当:小牧・篠岡】	部会から研修内容についての意見を募り、正・副が参画し、協働による開催企画と開催当日の運営。											
			研修内容 についてケ アマネジメ ント推進部 会内の意 見集約	研修企画部会との協働 (プロジェクトチームで研修会を計画立案)					研修会の実施 (案内・開催)		アンケート の集約	振り返り、 次年度テーマ選定	
5													
全体の流れ			全体会	事業の検討・実施							次年度事業計画策定		計画提出

ケアマネジメント支援推進部:リーダー:鶴 さや(小牧包括)
サブリーダー:山内 恵介(篠岡包括)
管理者:岡田 江里子(北里包括)

(南部包括)(小牧包括)(味噌包括)(篠岡包括)(北里包括)(地域支え合い推進員)(市<地域包括ケア推進課>)							
メイン担当	川中 麻里	鶴 さや	伊藤 茂美	山内 恵介	岡田 江里子	荒井 成治	吉嶺 涼太
サブ担当	村瀬 真由子		金田 泰丈	増田 英里			吉本 隆正

認知症総合支援推進部会事業計画書 令和4年度

	項目	事業内容(目的)	R4							R5			担当		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月
1	認知症理解への普及・啓発活動への取り組み ＜数値目標＞ ・市民向け 各圏域年1回以上 ・小学校、中学校での開催 各圏域1校以上 ・企業向け 各圏域 1件以上	・認知症への理解を深めるため ・認知症が身近な問題であると認識できるため ・ステップアップ講座につながる人材を発掘するため ・企業に対しては、地域貢献の取組みに参加できるきっかけづくり ・オレンジリングの活用促進												全員	
					認知症サポーター養成講座 ・講座のアンケートにて、「地域活動の参加意向がある方」へのフォローを徹底し、ステップアップ講座参加				随時開催				認知症サポーター養成講座見直し、修正、計画		
2	・認知症予防(認知症への備えとして)社会参加活動への取り組みの支援 ＜数値目標＞ ・地域活動に繋がるステップアップ講座等(名称未定)の開催	地域住民の経験を活かし、活躍の場とマッチングを図り、認知症サポーターの活動を促進するため												(3名) 服部 澤田 浅野(ま)	
					ステップアップ講座 ・見直し、修正、計画				ステップアップ講座 少人数で開催 ふれあいセンター大会		ステップアップ講座受講者のフォロー ・活動の意向がある方を地域活動へ繋ぐ				
3	認知症の人やその家族の支援や交流の場づくり ＜数値目標＞ 小牧市認知症本人・家族交流会を1回開催	・本人や家族の声が起点となる地域支援体制づくりの情報を与えるため ・地域住民が認知症を自分ごととして理解を深めるため ・認知症カフェの周知拡大のため ・当事者同士が交流し、仲間とともに希望を見出すため ・介護者同士が交流し、認知症の理解や対応方法 ・本人ミーティング開催へつなぐため													(2名) 浅野(温) 澤田
			小牧市認知症本人・家族交流会 見直し、修正、計画 ・小牧市全域で参加者募集					6月19日(日) 介護展にてチラシ配布		8月小牧市認知症本人・家族交流会 ふれあいセンター大会議室		・認知症本人・家族交流会 ・認知症カフェ			3月日(土)13:30～ 認知症本人・家族交流会 主催：尾張北部医療圏認知症疾患医療センター
4	医療、ケア、介護サービス等が、認知症の病態に応じた適時、適切なタイミングで提供できる支援	・住み慣れた地域で暮らし続けるには、これらの有機的な連携が必要であるため ・認知症サポート医、かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者の医療機関とパイプを作るため													(4名) 村田 浅野(ま) 三嶋 桐林
			認知症サポート医・認定看護師との意見交換会計画					(仮)7月認知症サポート医・認定看護師との意見交換会		・認知症初期集中支援チーム員会議への参加 毎月第3水曜日 ・認知症ケアパスの啓発					
5	認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりに必要な取り組みの支援 ＜数値目標＞ ・ネットワーク協力員100件増 令和2年度1,467件 →令和3年度1,496件 (メール1,077件 FAX419件)29件増 (R4年3月1日現在) ・認知症声かけ訓練	・住み慣れた地域で暮らし続けるには、認知症バリアフリーの視点で、安心・安全な生活の確保・地域の見守りが必要であるため ・認知症高齢者等あんしん補償事業の周知拡大のため ・認知症の啓発活動を通して、地域と連携し、安心して暮らし続けられるため ・運転免許返納後の生活スタイルを支援するため													全員
			6月19日(日) 介護展 ふれあいセンター 啓発活動		認知症高齢者等あんしん補償事業登録者名簿確認		認知症についての市民シンポジウム(小牧市) 9月24日(土) 主催：尾張北部医療圏認知症疾患医療センター		・認知症高齢者等あんしん補償事業 各圏域随時啓発 (2月締切) ・認知症声かけ訓練 各圏域随時開催					認知症高齢者等あんしん補償事業集計報告	
全体の流れ			全体会	事業の検討・実施							次年度事業計画策定		計画提出		

認知症総合支援推進部会メーリダー：浅野 温子(小牧包括)
サブリーダー：浅野 まどか(南部包括)
管理者：高田 かおる(篠岡包括)

	(南部包括)	(小牧包括)	(味岡包括)	(篠岡包括)	(北里包括)	(地域支え合い推進員)	(市<地域包括ケア推進課>)
メイン担当	浅野 まどか	浅野 温子	村田 昌子	服部 景樹	澤田 このみ	石附 こずえ	倉知 佐百合
サブ担当		桐林 加穂子		高田 かおる			